

稲敷市学校及び幼稚園適正配置検討委員会第3回委員会

日時:令和6年12月16日(木)18時半～

場所:稲敷市役所3階331会議室

■検討委員会委員（順不同）

出席（23名）：尾崎利生委員（会長）／寺崎久美子委員（副会長）／根本光治委員／飯塚敏委員／
亀山浩二委員／小松原剛委員／鴻巣伸二委員／田村慎太郎委員／篠崎和治委員／廣田磨美委員
／黒田式子委員／栗山忠委員／根本照美委員／内藤信委員／宮本真由美委員／高柳あゆみ委員／
坂本絵美委員／高野貴世志委員／中山浩一委員／高本昇委員／糸賀安志委員／田所妙子委員／
糸賀妙子委員

欠席（6名）：宇津木裕委員／黒田真由実委員／篠田純一委員／佐久間信幸委員／磯山寿美委員／
内藤のぞみ委員

■第3回の委員会

1 開 会

2 会長あいさつ

会長：皆さんこんばんは。本日の第3回適正配置検討委員会も遅い時間の開催にも関わらず、多数の委員の皆様のご出席を賜り、感謝申し上げます。さて、本年10月末に衆議院議員総選挙が実施されたため、こちらの委員会開催予定も少しずれ込んでおります。本日は、（1）学校再編に関するアンケート調査の結果と検証について、（2）稲敷市における学校再編スケジュール案について、（3）教職員に対するアンケート調査について検討していく予定になっております。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

3 協議事項

1) アンケート調査の結果について

《資料1 説明（事務局）》

会長：今アンケート調査の結果についての説明が終わりました。ここまでの説明について、ご意見ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言願います。いかがでしょうか。

（意見なし）

特に無いようですので、次に稲敷市における学校再編スケジュール案について説明願います。

2) 稲敷市における学校再編スケジュール（案）について

《資料2、3 説明（事務局）》

会長：ありがとうございます。大変広範囲な説明になりましたので順番に検討していきたいと思えます。まず小学校が2校、中学校が2校になっていくスケジュールが示されました。当委員会では稲敷市における学校の適正規模と適正配置について諮問されています。まず、学校の適正規模についてですが、事務局案では1学年1学級の単学級を無くし、クラ

ス替えができるように1学年複数学級を目指すという説明でした。この考え方についてご意見のある方は挙手の上ご発言願います。いかがでしょうか。

(意見なし)

会長：ご意見が無いようでしたら続けていきたいと思えます。先ほどの意見を加えて当委員会の答申としたいと思えます。

次に学校の適正な配置についてです。事務局の説明では決めかねていることもあるようですが、東部地区と西部地区に小学校と中学校を1校ずつ配置したいということでした。学校の場所については、ひとまず置いておいて、広い稲敷市の土地を考えると、東部地区と西部地区に1校ずつ配置したいという点についてご意見のある方、挙手の上ご発言願います。

(意見なし)

会長：ご意見が無いようでしたら続けていきたいと思えます。

次に小学校と中学校を同じ敷地に配置したいという説明がございました。

1点目が、できる限り多くの子ども達を同一敷地内に集約することで活力ある学校を作ることができること。2点目が同一敷地内にあることで、小中学校の各種行事等の活動における連携が円滑になり、教育活動の充実が図られること。3点目がスクールバスの運行を考慮したためであること。4点目が緊急時に保護者が子どもを送迎する際、兄弟姉妹が小学校と中学校に各々在籍している場合、1ヶ所で済むということでした。この点についてご意見のある方は挙手の上ご発言願います。

(意見なし)

会長：ご意見が無いようですので、次に場所についてです。

事務局の説明では、西部地区は江戸崎中学校、東部地区は桜川中学校と東中学校を候補地にしているとのことでした。当委員会では、場所までは決めなくとも浸水想定エリアへの配置を避けるべきであることや、子ども達が多い地区に学校を配置するべきなどを答申に含めたいと思えます。東中学校は浸水想定エリアに含まれておりますが、避難経路等の対策もとられているようであります。この点についてご意見のある方は挙手の上ご発言願います。

(意見なし)

会長：ご意見が無いようですので、先ほどの意見を加えて当委員会の答申としたいと思えます。

他にスケジュール案全体を通してご意見のある方、挙手の上ご発言願います。

委員：江戸崎中学校の敷地に小学校と中学校が同時に存在し、小学校と中学校にそれぞれ校長を置くということは、同じ建物の中に小学校と中学校ができるのか、それとも、小学校の建物は新しくその敷地の中に建てるといったことなののでしょうか。

事務局：江戸崎中学校は、教室数もある程度確保されております。しかし、小学校と中学校が同じ建物に入るとなると教室数は足りません。児童・生徒数が減少し教室数が足りるようになるまで待っては、年数も経ってしまい令和17年には収まらなくなると予想されます。そのため、校舎の最低限の増築は必要と考えております。増築を含めて、小学校と中学校の配置や職員室の配置について検討していきたいと思っております。

事務局：補足になりますが、埼玉県で1つの建物に小学校と中学校の併設型ということで、職員室を2つ作っている事例もみられます。2つの職員室は中で繋がっており先生たち同士

で意見交換をできるような運営をしているようです。

委員：ありがとうございます。納得しました。

もう1つ質問よろしいでしょうか。アンケートの中にもありましたが、建物はいいけど敷地の面積のこともあるかなと思います。君賀小学校と鳩崎小学校が統合した際には、児童数が340～350人程度となり、グラウンドが不足し運動会を江戸崎総合運動公園で開催しました。沼里小学校と高田小学校と江戸崎小学校が統合し、江戸崎小学校の敷地を使うとなると同じように狭い敷地の中での運動会となるのと、子どもの活動の場として問題ないのか疑問です。江戸崎小学校の校長先生が出席されているのでお話を伺えると思いますが、江戸崎小学校は今でも学年で2ブロックに分けて休み時間を取ってグラウンドを使っています。休み時間がずれているので、上級生が下級生の面倒を見て活動をするということとはできないわけです。そこまでして、狭い敷地の中でやりくりするしかないのかというのが1つです。

もう1つは、通学範囲が広がることで、江戸崎商店街を時間帯によっては多くの送迎バスが通過することになります。送迎バスを待機させる場所や旋回させる場所をどうするのかというのも疑問です。また、送迎バスや一般車両が通行するなかで、アンケート調査結果のご意見でもあったように徒歩の通学者の安全な通学経路を確保できるのかとも感じます。そこまでして、江戸崎小学校の狭い敷地にこだわる理由があるのかについて、お尋ねしたいと思います。

事務局：やはり、ある程度子どもたちを1つの小学校に集めたいという教育委員会の思いがあります。ご指摘のあった江戸崎小学校の敷地が狭いことによる懸念は確かにあると思います。しかし、30年ほど前は600人近くの子供たちがそこで運動会をやっていました。実際、鳩崎小学校、君賀小学校が統合したときには、やはり敷地が狭いことやスクールバスの安全面についても同じような話がありました。ただ、ある程度子どもの人数を集めて、収容できる規模の教室数を考慮すると江戸崎小学校しかないと思います。

スクールバスの安全性については、今はなるべく学校近くの道路で降りようになっており、先生方も朝の時間と帰りの時間に見守りをいただいて安全に乗降できるようになっております。その辺りも含め、これから検討をすることは沢山ありますが、教育委員会としては対応可能ではないかと考えております。

委員：ありがとうございます。納得しました。自分なりに一生懸命考えた中で疑問が出てきたものでお尋ねしました。ご回答ありがとうございます。

委員：同じような質問をしようと思っていたのですが、江戸崎小学校に統合すれば通学する児童数が多くなり、スクールバスの台数もかなり多くなると思います。スクールバスの台数が多くなったときには、やはり危険性があるという思いがあり質問しようと思いました。どのように対応できるのかお聞きしたいです。

事務局：回答させていただきます。正直なところ台数が増えるので安全に気をつけるしかないと思っております。実際の走行ルートまでは細かくイメージして検討しているわけではございません。申し訳ありません。

委員：わかりました。間違いなく安全面の課題は出てくると思います。そういうことも視野に入れて検討してください。時期が近づいてからでは間に合わないと思います。

委員：通学関係のバスに関して、駐車の際に旋回する場所が厳しいということであれば、例えばしろやま跡地辺りを造成していただけるような手配をお願いしたいと感じます。グラウンドの狭さについて、現在は時間差で上級生と下級生の中間休みの時間を分けている状況です。これについては、コロナ対策としての理由もありましたが、一緒に利用していた当時よりもトラブルや怪我が減っており、今の状況の方がいいかなと思っています。人数が増えたときに若干どうするのかというのを考えなくてはいけないと思っています。

もう1つ、下校指導なども今は教職員で江戸崎駅のバス停まで見送るなどしているのが現状です。こういった下校指導などをボランティアなどに協力いただきながら、教職員の負担軽減を図っていきたいと感じます。

会長：それが可能であればそういった方針で進めることは大丈夫でしょうか。また、江戸崎中学校敷地に統合した小学校を配置するという理解でよろしいですか。

事務局：お答えさせていただきます。江戸崎小学校に令和12年には江戸崎地区の3小学校を江戸崎小学校に統合し、その5年後の令和17年に新利根小学校と統合する際には、江戸崎中学校の敷地内に配置するというように考えています。

会長：今の回答については、いかがでしょうか。

事務局：課題として挙げたスクールバスなどの登下校時の安全面、学校の運営上の課題については、教育委員会と関係部署と相談し、解決方法を考えていきたいと思えます。挙げていただいた課題は、次回会議で付帯意見として答申書に付けて作りたいと思えます。ご理解をいただきたいと思います。

委員：先日、美浦村、稲敷市の学校関係者と警察との集まりがありました。その中で、美浦村教育委員会から情報提供がありました。美浦村は、来年4月に3小学校を統合し美浦小学校を開校し、美浦中学校の敷地内に開校するため現在工事を進めているようです。美浦中学校と美浦小学校の入口は別にして児童・生徒の登校、バスへの乗降、保護者の送迎者が入ってくるなど、かなり細かくシミュレーションしているそうです。安全確保が第一で進めていきたいというところでした。

そのため、同一敷地内にまとめるメリットも教員としても理解できますが、ただ実際にやろうとすると大変です。まして、令和17年度から江戸崎中学校敷地内に小学校を開校するとなると、敷地内にどのように小学校を作って増設し、子どもたちや保護者、バスの動きを検討していくことはすごく大変と感じました。

会長：ありがとうございます。何か回答できることはありますか。

事務局：ご質問にお答えさせていただきます。まだ細かなシミュレーション等はしている状態ではございません。できるだけ頂いた意見を踏まえた上で、安全面には最大限配慮していきます。校舎を建てる位置にもよると思えますので、その辺りはよく検討していきたいと思えます。

会長：ありがとうございます。他にご意見ございませんでしょうか。

委員：ありがとうございます。これだけ細かなスケジュールは本当に大変だったろうと思えます。質問です。先ほど答申としては単学級を作らないというのが最初の大前提だったかと思えます。その中で、中学校の単学級について、桜川中学校が来年度から、新利根中学校で再来年度から発生します。計画を早めることはできるのかということが1点目です。

2点目は、5年ごとに検討するというので、今後の検討は、このような審議会を設置するのか、それとも委員会で検討し議会で決めるのか教えてください。特に、令和20年頃には桜川中学校と東中学校が統合しても単学級が発生することが想定されています。

あとは、私の意見を2つ述べさせてください。1つ目は、学区は旧4町村のままでいいかということです。稲敷市ができて20年になります。学区をもう1回考えた方がいいと思います。特に新利根地区と江戸崎地区と東地区が入り組んでいる浦向のあたりです。町田新田や古渡も桜川中学校よりも江戸崎中学校に行った方が近いと思っていました。その辺りについては、この場以外で検討できればいいと思います。

もう1つは、稲敷市よりも広くて山も谷もある大子町が来年4月から4つの中学校を1つに統合します。いずれは稲敷市でも検討の必要があるのかなと思います。それから潮来市内の4つの中学校も令和11年度に1つに統合します。計画の見直し検討のときには、そういう話題が出るかと思っています。

会長：ありがとうございます。事務局からただいまのご意見について何かありますか。

事務局：それでは、ご質問にお答えします。まず1つ目の中学校の統廃合スケジュールを早められないかについては、事務局としてはできるだけ早く進めたいと考えています。説明会の開催は、最初に学校ごとのPTAや保護者に意見を聞き、それ次第では前倒しすることは可能と考えています。

2番目のご質問の計画の見直しの際に委員会を設置するかについては、明らかに子どもの数が減少し単学級になることが避けられない予測となった場合は同じように検討委員会を設置し、市内1校または市域が広いため2校のままでいくといった検討をすることになると思います。

学区については、教育委員会でも話は出ております。ただ、今回は東部地区と西部地区に分けて最終的に2校にすることを目指しています。そのため、東西の中心となる古渡や町田の辺りは、江戸崎に近いから古渡を江戸崎小学校区としてしまうと東部地区の子どもが減ることとなります。なので、現段階では東部地区は江戸崎と新利根、西部地区は桜川と東と考えています。

もう1つ、大子町のような大きな町でも町内1校という事例もあるので、市域が広い稲敷市で市内1校という案もありました。しかし、小学1年生が1時間以上かけて通学する環境は大変なことだと思います。そのため、稲敷市としては東部地区と西部地区に1校ずつという結論に至っております。以上です。

会長：ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員：クラス替えができるような教育環境を確保するというのであれば、説明会等の開催なるべく早く進めていく必要があると思います。5年以上先の話をしているというようなスケジュールだと思います。この適正規模適正配置は何故するのかというところが少しぼやけてきているのではないかと感じながら聞いておりました。

事務局：ご質問にお答えします。単式学級が発生せず、クラス替えができる規模の学校にしていきたいということが最大の思いです。お示ししたスケジュールが事務局で考えた最速の案となります。それぞれの小中学校に説明していく中で、スケジュールが前倒しや後ろ倒しになる場合もあるかと思っています。しかし、計画を立てなければ前に進んでいかないので

で、このような計画を委員の皆様には示させていただき、ご意見を頂戴しながら進めさせていただきたいと考えております。

会長：ありがとうございます。他に如何でしょうか。一応これまで出てきた事務局の説明が当委員会の答申となります。

事務局：本日いただいたご意見なども含めて答申としてまとめます。できれば答申案の雛形を作成し、次回の検討委員会の前には郵送し、内容をご確認いただきご意見をいただけたらと考えております。以上でございます。

会長：特にご意見はないようですので、そういう方向で検討させていただきたいと思います。

事務局：わかりました。

3) 教職員に対するアンケート調査について

会長：教職員のアンケートは、どのような内容ですか。

事務局：説明させていただきます。会議次第の協議事項(3)の教職員に対するアンケート調査についてです。前回の審議会で、委員より教職員へもアンケート調査を行う必要があるというご意見がございました。指導室の先生方と設問内容について協議したうえで、校長先生方にも協力いただきながら進めたいと思います。次回の検討委員会に内容を説明指したいと思っております。以上です。

4) その他

会長：ありがとうございます。他にないようでしたら、最後にその他ですが、何かご意見ご要望がございましたら発言をお願いします。

(意見なし)

会長：特に無いようですので、今日の議事はここまでとしたいと思います。ご協力ありがとうございました。

4 閉会

事務局：ありがとうございました。本日はご多用の中、出席をいただき、慎重なる審議をいただきましてありがとうございます。事務局から連絡事項を申し上げます。今後のスケジュールですが、次回答申案を作成させていただきたいと思っております。事前に皆様方には資料を郵送させていただきます。中身をご確認いただき、意見等を受けまして修正をしたいと思っております。あと1回の会議でこの検討委員会は終わりにしたいと考えております。以上でございます。

委員：次回の委員会は何月の予定ですか。

事務局：1月末から2月の上旬にやらせていただければと思います。スケジュールの方は以上となります。

事務局：それでは第3回検討委員会を終了します。本日は長時間にわたりお疲れ様でした。